

やとみ

議会だより

No. 27

2012年
11月発行

秋色鮮やか

NEW

議員と語りませんか！

市議会タウンミーティング開催

11月28日(水) 市民ホール 詳細は4ページをご覧ください

平成24年9月定例会概要

10月18日コスモス畑(鮫ヶ地地内)

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011



▼ 工事中の日の出小学校を見学する
議員【9月21日・平島町地内】

9月 定例会

9月定例会を8月30日から9月21日までの会期で開きました。

市長から、23年度決算認定など17議案が、議員から意見書など4議案が提出され、原案通り可決しました。

また教育委員の任命に同意し、人権擁護委員候補者を適任であると決定しました。

一般質問には、13人が登壇しました。

決算特別委員会

決算に関する事項審査のため設置しました。

委員長 伊藤 正信

副委員長 横井 昌明

委員 三宮 十五郎

佐藤 博

小坂 井 実

山口 敏子

三浦 義光

早川 公二

川瀬 知之

23年度一般会計・特別会計決算認定

決算を認定するもので、

一般会計歳入は14億8千580万円、歳出は13億9千735万円、特別会計を併せた合計額は歳入226億7千662万円、歳出は21億7千549万円です。

質疑

質疑（三宮議員）

(1) 県西尾張地方税滞納整理機構に、乱暴な徴収を止めるよう話してほしいかどうか。

(2) 介護保険料の値上げを抑えるため、どんな対応をしたのか。

答弁（市長）

(1) 確認しなければならぬが、実績も上がっている。

主な内容

定例会の審議内容

議案質疑……………2～4

一般質問(13人)……5～17

やとみフラッシュ……18

表紙の説明

鯉ヶ地地内の畑に10月18日、十四山西部小学校3・4年児童約50人と保護者が訪れました。

地元の市民団体「鯉ヶ地コスモス会」が、約1万5千㎡の休耕田に黒豆とコスモスを栽培し、児童を毎年招待。あいにくの小雨になりましたが、児童は保護者と一緒に、枝豆の収穫を楽しみました。



9月定例会

個人の生活基盤を考慮した徴収だと思っている。

答弁（介護高齢課長）

- (2) 第4期（21～23年度）は保険料抑制のため、約1億円の基金を見込んでいたが、第5期（24～26年度）は500万円程度の基金しかなく、保険料を12段階に設定し、低所得者に配慮した。

質疑（横井議員）

- (1) 23年度決算で、利率3%以上の借り入れが約3億円ある。繰上げ償還できないか。

- (2) 財政力指数は。

答弁（財政課長）

- (1) 国の要綱で年利5%以上が対象だが、該当する借り入れはない。
- (2) 24年度が0・97669%である。

質疑（那須議員）

- (1) 小中学校敷地の借地整理の状況は。
- (2) 市の就学援助制度の割合は7%だが、全国平均は13%である。なぜ利用者が少ないのか。

答弁（学校教育課長）

- (1) 全体で9千㎡ほどの借地がある。23年度、弥富北中学校駐車場を買収した。今後も計画的に行いたい。

- (2) 全小中学生にチラシを配っており、市が極端に低いとは考えていない。

討論

反対討論（三宮議員）

生活保護に落ち込むような賦課や徴収はしないこと。下水道は、秋田県が財政的負担に耐えられず、大幅に計画を見直している。市も議論を進めることを求め、反対する。

賛成討論（三宮議員）

国民健康保険税の値上げを抑えるため、一般会計からの負担に努力しており、賛成する。

※三宮議員は、一般会計決算、農業集落排水事業・公共下水道事業特別会計決算について反対討論し、国民健康保険・介護保険特別会計決算について賛成討論を行いました。

採決

○一般会計決算

賛成起立14人で可決
反対2人（三宮、那須）
棄権1人（佐藤博退席）

○農業集落排水事業・公共下水道事業特別会計決算

賛成起立15人で可決

反対2人（三宮、那須）

○土地取得・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計決算

全員賛成で可決

新校の名称を「日の出」に決定

平島町内に建設中の新校の名称を、日の出小学校【 】に定めるものです。

校小学校のマンモス化を解消するため、旧弥富中学校跡地に建設中の分離校。通学区域は平島と車新田の行政区で、25年4月に開校予定。

採決

質疑・討論なく全員賛成

教育委員

加藤正和氏の退任に伴い、任命に同意しました。

伊藤昭三氏

（63歳・前ケ須町）
任期満了に伴い、再任に

同意しました。
下里博昭氏

（61歳・鎌島）

人権擁護委員

佐藤浩氏の退任に伴い、候補者を適任であると決定しました。

平野洋子氏

（65歳・中山町）

意見書の提出

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担金制度拡充を求める意見書
（総理・総務・文部科学大臣、内閣官房長官に提出）

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
（総理・総務・財務・文部科学大臣に提出）

県の私学助成の増額と拡充に関する意見書
（県知事に提出）

12月定例会の開催日程(予定)

期 日	日 程	放映 予 定
11月28日(水)	本会議(議案説明等)	
12月10日(月)	本会議(一般質問)	○
11日(火)	本会議(一般質問)	○
12日(水)	本会議(議案質疑)	
17日(月)	建設経済委員会	
17日(月)	厚生文教委員会	
18日(火)	総務委員会	
20日(木)	本会議(委員長報告・討論・採決)	

～ケーブルテレビ中継～
午前10時～会議終了まで(録画放映は当日午後7時～予定)
※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

ごみ袋問題、調査まとめる

市長・副市長が管理責任で給与減額

市の指定ごみ袋の発注先企業が6月12日、自己破産したことに伴い、支払い済みのごみ袋約千276万円分が、未回収となった問題です。企業倉庫に現物を保管させていたことが、破産後の確認で、在庫がないことが発覚しました。

原因究明に 特別委を設置

問題発覚後、議会として

原因を究明し、

再発防止を図る

ことを目的に、

6月20日、議員

9人によるごみ

袋問題調査特別

委員会を設置し

ました。

委員会は、6

月9月にかけて

12回の調査を実

施。9月21日、

本会議で報告を

行いました。

	未納数量(袋)	未納金額(円)
可燃ごみ袋(大)	1,035,400	10,926,059
不燃ごみ袋	99,200	1,842,590
合計	1,134,600	12,768,649

報告の骨子

損失発生の原因

①年間必要数量を上回る予

算を執行したこと

②発注先企業倉庫に

預かり保管したこと

③納品、現品確認、

支払い手順の不徹底

今後の改善策

①適正数量の予算化、

発注

年度末は、次年度

生産業者が納品する

までの在庫(4〜5カ

月分)が必要だが、年

間発注量は、市民の

実際の年間使用量と

年度ごとの発注量と在庫の推移

	可燃ごみ袋(大)			不燃ごみ袋		
	年度発注数	年度末在庫量	在庫(月分)	年度発注数	年度末在庫量	在庫(月分)
平成20年度	1,650,000	895,000	9	150,000	82,000	12
平成21年度	1,650,000	1,430,000	14	100,000	100,000	14
平成22年度	1,420,000	1,650,000	16	160,000	170,000	24
平成23年度	1,200,000	1,470,000	15	100,000	190,000	27

同量を厳格に予算計上し発注すること。

②納品に対する的確な検収

検収を確実にし、在庫

の確認を行うこと。

③確実な保管管理

製品は市役所で、確実に

保管管理すること。

市長・副市長の
給与を減額

9月21日、特別委員会の

報告後、不適切な事務処理

が行われた管理監督責任を

負い、市長が提案しました。

▼市長 10月〜半年間、給

料月額と期末手当20%減額

▼副市長 10月〜3カ月間、給

料月額と期末

手当10%減額

採決

質疑・討論なく

全員賛成

今後の対応

市は6月27日、

裁判所に債権の

届け出をし、破

産管財人に対し、

損害賠償として

未回収代金全額

を請求中です。

議員と語りませんか？

市議会タウン ミーティング開催

市議会では、開かれた議
会を目指し、市民の皆さま
に議会活動を直接説明する
タウンミーティングを開催
します。

当日は、議会と市民の皆
さまが情報や意見を交換す
る場も設けます。ぜひお越
しください。

▼とき 11月28日(水)

午後7時〜9時(受け付

けは午後6時30分)

▼ところ 市民ホール(市

役所隣り図書館棟3階)

▼テーマ(報告内容など

①議会基本条例について

②議会改革協議会について

③ごみ袋問題調査特別委員

会の報告について

④意見交換会

▼その他 事前の申し込み

は必要ありません。駐車

場は、市役所または産業

会館をご利用ください。

三 宮 十五郎 議員



市の財政を圧迫する下水道の将来負担を明らかに

問

下水道について聞く。

(1) 24年度、一般会計からの負担は1億6千200万円だが、44年度には約5億円が予定され、市の財政を圧迫する大きな要因となる。

今後の施設の大規模改修や更新費用が、財政計画に反映されていない。

長期計画を決めたら、市民にどんな負担があるかを明らかにすべきではないか。
(2) 市全域を完全に下水道管でつながなくても、合併浄化槽など、余り費用のかからない方法もある。

本当に計画を見直さなければならぬなら、市民へ報告願いたいかどうか。

(3) 鯛浦地区は、水質浄化剤の配布を行っている。

本当に川がきれいになれば、非常に効果的な方法で

ある。実際の状況を調査して、市の補助対象になるか検討してほしいかどうか。

25年度以降をめぐり数字を出す

答 市長

(1) 総合計画の中で、市民から一番要望が高かったのが下水道だった。

長い先になるが、市民の

接続協力で資本的支出をいかにカバーしていくか、収益をあげなければならぬと思っている。減価償却の問題も、その都度チェックしていきたい。

(2) 第1次供用開始が22年3月末である。今の整備率、宅内配管接続率を、3年を一つのめどにし、数字を出していきたい。

問

水道料金の利益確保見直しを

(3) 地域から計画を出し、進めてほしい。市が補助すべき状況なら、考えていきたい。
へドロ堆積は、量の多い所は市の責任として浄化策をすべきと思っている。

海部南部水道企業団の利益は、同規模団体と比べ

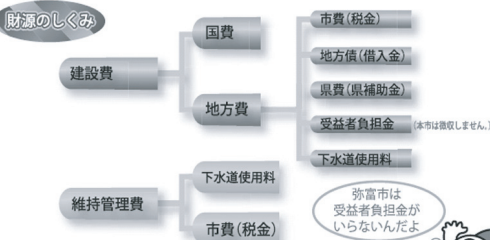
答 市長

利益は安定経営に必要

(12〜21年平均で)1m³あたり18円21銭高い。
国の補助金なしで配水場を更新するほど、独占的な立場を活用して利益を上げている。
そういう状態を変えていくため、十分な協議を願いたい、どうか。

3. 下水道事業の財源

下水道を整備するためには、下水管きょの布設や公共汚水ますの設置、汚水を処理する処理場等の維持管理に多額の資金を必要とします。この資金は、国や県の補助金、地域の方に納めていただく受益者負担金（本市の公共下水道は、賦課徴収しません）、市費、地方債（借入金）及び下水道使用料が用いられます。



市は下水道パンフレットより抜粋

23年度決算は、1億円強の黒字である。こういった利益をしつかり持つことが、企業会計として安定的な経営基盤になるだろうと思っている。
今後の資本的収支の状況をかながみながら、構成市村の役割を考えなければならぬと思っている。

那 須 英 二 議員



再生エネルギー転換に向け イニシアチブの発揮を

問

原子力発電について聞く。
(1) 仮に、大飯原発から放射能が漏れれば、風によって市に放射能が降る可能性があり、木曽川上流に散布されれば、水も脅かされる状況になってしまう。

電の構成比は25%強（が適当）だと思っており、早く再生・自然エネルギーに代替すべきと思っている。
エネルギー政策は国策であり、運動には参加しない。
(2) 約3千㎡の太陽光パネル設置を計画している市民

補助事業と節電 対策を進める

答 市長

(1) 個人として、原子力発

早急に原発ゼロを目指していけるように、市民、全国の首長等と連携し、住民の命や暮らしを守る仕事をしてほしいがどうか。
(2) 再生可能エネルギーへの転換に向け、市長にイニシアチブを発揮し、役割を果たしてほしいがどうか。



▶ 太陽光発電装置を設置した住宅

もいる。

住宅用太陽光発電施設導入促進費補助金は、いろんな業者があるので、しっかりと精査しながら補助事業を進めていきたい。
市としてリーダーシップを発揮し、節電対策を考え、やっていきたい。

児童クラブは4 年以上も対象に

問

核家族化が進み、雇用悪化で子どもを預けて働かなければ生活が困難な家庭が増えている。

児童クラブについて聞く。

(1) 利用状況
(2) 定員いっぱい
(3) 待機児童はいるか。
(4) 子どもが一人で留守番し、ゲームをする状況はよい環境

年齢拡大も視野 に入れ進めたい

答 児童課長

(1) 8児童クラブの定員が343人で、9月現在252人が利用している。

(2) 白鳥児童クラブである。

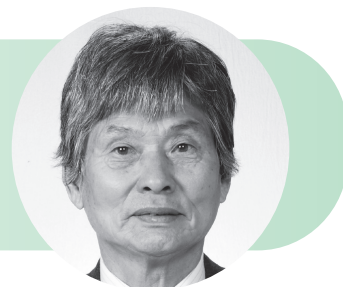
(3) 今待っている児童はいない。

(4) 今後、利用児童の年齢拡大も視野に入れ、進めていきたい。

(5) 今後、施設拡充や新たな施設確保も検討する必要があると考えている。

ではない。集団生活の交流は素晴らしいと実感しており、円滑なコミュニケーションがとれるメリットがある。
保護者から、4年生以上も預けられるようにしてほしいと、声が上がっているが、どうか。
(5) 愛西市は施設を増やし、4年生の受け入れを決定している。
市も配慮してはどうか。

大 原 功 議員



TPP参加を視野に入れた 農業政策を

問

農業について聞く。

(1) 農家は何m以上で専業農家になるか。

(2) 小麦は、80%を外国から輸入しなければ、パンや麺の生産ができない。

(米を)日本から中国へ輸出する関税は、何%か。

(3) TPPのデメリットはどこにあるのか。

(4) 農業はもうかるか、自分で試し、田や畑を買ったが、やはり農家はもうからない。やればやるほど赤字が現実である。

官民一体で農業を立ち上げるべきではないか。

(5) TPPは約12兆円の効果があると、新聞に出ていた。

車、服、パンなど、関税が安くなると、かなり効果があるのではないか。

(6) 弥富の米がつくっても足りないくらいになれば、農家も利益が出るのではないか。

国が農家保護を 行うのが先決

答 開発部長

(1) 面積で専業農家は示していないが、農家戸数は千570戸、専業農家戸数は118戸である。

(2) 関税割り当て枠内業者は14%、ない場合は78%である。

(3) TPPに参加した場合、自給率が39%から13%に低下すると国が試算しており、農産物も4兆千億円減少する見込みが発表されている。

県の試算でも、940億円の

農水産物が減少すると聞いている。

(輸入)米の影響を補填する場合、年間1兆6千500億円の予算が必要だと聞いている。

現状維持で農地集約を図りながら、(農作業を委託する)オペレーターを法人化等組織化し、規模拡大に努めていきたい。

答 市長

(4) 国は、農産物に対する価格、農業従事のメリット、遊休農地の考え方など、具体的に策を講じていない。

TPP等も農業問題がネックになっており、もう少し農業に対し、国がきつちりと目を向けるべきだと思っている。

(5) 日本の農業は、大変厳しい状況に置かれている。国は、きちつと保護政策をやらなければならない。

日本は、障壁となる農業問題、関係者の努力に対し、国の施策、一体的な強化策を考えないと、日本の成長はうかがえないと思っています。

市に空き家はどう のくらいあるか

問

地震で古家が崩壊すれば、全国で12万人に被害があると聞いている。

市に古家、空き家はどうのくらいあるのか【関連記事16面】。

20年に調査し、 9戸に管理依頼

答 防災安全課長

20年に区長を通じ、空き家調査をし、47戸が報告された。

実際に職員が調査し、9戸が危険のため、(適正)管理を依頼する手紙を出した。

三 浦 義 光 議員



防災をテーマに一般対象の
出前講座を

問

防災について聞く。

- (1) 6～8月に行われた防災をテーマとした市長出前講座【関連記事11面】は、区長等が対象だったが、一般に紹介する機会はあるか。
- (2) 自宅の安全点検や食料、飲料水3日分の備蓄など、一人一人で行う組む自助は、減災で大変重要になってくる。市の啓発活動を聞く。

団体申請で気軽に
申し込みを

答 防災安全課長

- (1) (市長出前講座以外に) いろいろなテーマでまちづくり出前講座を行っている。防災は23年度7回、24年度4回、自治会集会などに職員を派遣している。

市長出前講座【7月31日・十四山地区】



安心な地産地消
給食の推進を

問

学校給食について聞く。

- (1) 放射能から食の安全を守る動きが、行政レベルでも加速している。
- 市は、独自の測定器を購入する予定はあるか。
- (2) 市の食育に関する取り組みの概要を聞く。
- (3) 地産地消が安全・安心の観点から高まっていると思う。

市の考え方、取り組みを聞く。

地元米等を優先
使用している

発などを掲載している。

答 学校教育課長

- (1) 空間線量を測定する機械を、25年度購入できるようにしていきたい。
- (2) 食育授業や親子試食会を実施し、食の重要性の周知を図っている。

また、収穫体験する場を設けている学校もある。

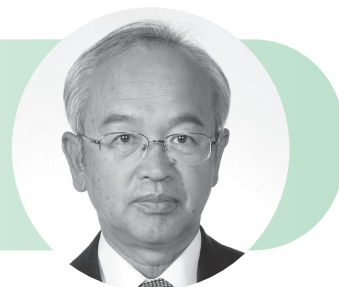
9月4日、新米試食会を全小中学校で開催し、地元米等も周知している。

(3) 県内、海部地域の食材の優先使用を心掛け、米は、海部南部産のあいちのかおりを使用している。

原発事故以後、長野・静岡県より東の17都県の野菜等の生産物は、事前にサンプル食材を県学校給食会に持ち込み、放射線量を計測し、安全を確認して使用している。

今後は、食材選定、納入に際し、学校、教育委員会、県学校給食会、食材納入業者と連絡を密にし、産地確認、国の出荷制限等の情報に留意し、安全確保に努めていきたい。

平 野 広 行 議員



コミュニティバスの南部 ルートと飛島バスの接続を

問

コミュニティバス「関連記事13面」について聞く。

- (1) 南部ルートから、飛島公共交通バスを利用し、近鉄蟹江駅に出るルートを検討してほしいがどうか。
- (2) 8月20日が回答期限だったアンケート調査の結果が出たら、各学区の区長と話し合っているかどうか。

ダイヤ上、接続 は難しい

答 防災安全課長

- (1) 通勤時間帯は余裕がない運行で、現段階で接続は難しいと思っている。
- (2) 集計中で、結果はホームページ等でも掲載する。区長との話しは、今後の検討課題としたい。

市内購入周知で たばこ税収増を

問

たばこ税について聞く。

- (1) たばこは市内で買うことを周知徹底し、市税アップを図ってほしいがどうか。
- (2) 愛煙家は、市に3億千764万円納税している。庁舎公共施設に分煙喫煙所を設

8月に行われたアンケート

弥富市民のみなさまへ
きんちゃんバスに関するアンケート調査
ご協力よろしくお願いします！

平成24年8月
弥富市地域公共交通活性化協議会
会長 弥富市長

服部彰文

平成22年6月から実証運行を開始した「きんちゃんバス」は、これまでに実施したアンケート調査の結果や利用状況を踏まえ、平成24年4月から本格運行に移行し、より身近で使いやすいコミュニティバスへと成長しつつあります。
しかし、利用者は少しずつ増加してきているものの総数としては依然少なく、ルートや時間帯によっても利用の偏りがある状況となっていることから、新たな運行形態の導入も視野にいたれた公共交通の運行形態の検討も必要となってきています。

置きたいかどうか。

販促は組合等で 行ってほしい

答 税務課長

- (1) 市が喫煙を奨励することにもなりかねない。PRはホームページ等で行うが、販売促進は、組合等に行ってもらおうのがよいと考えている。

答 総務課長

- (2) 新庁舎は、住民の健康を守る視点から、敷地内全面禁煙とする計画である。

栄南保育所は民 間施設へ避難を

問

防災について聞く。

- (1) 保育所の津波からの避難方法は。
- (2) 6月に質問したが、栄南保育所児の民間企業への避難は可能になったか。
- (3) 孫宝排水機場は、停電

になった場合、4台のうち2台しか稼働しない。どんな対策を考えているか。

(4) 液化化対策が国の予算で行われる鍋田の海岸堤は、5kmあるので全部やるのは難しい。ウィークポイントを集中的にやってほしいが、考えているか。

依頼し快諾を得 た

答 児童課長

- (1) 避難所への所要時間は、5分〜35分かかっている。一人の保育士が5〜9人の所児を引率する。
- (2) 保育所近くに4階の建物があり、避難を依頼したところ、快く承諾を得た。

答 農政課長

- (3) エンジン式(2台)を3日間、連続運転できる燃料タンクを設置している。

答 市長

- (4) 県、名古屋市等と一緒に強化策を考えながら、国に陳情していきたい。

炭 竈 ふく代 議員



軽度の障害を克服する 通級指導教室の複数設置を

問

学校教育について聞く。

(1) 24年度、平和教育で広島研修が予定されているが、その事業内容は。

(2) ①防災②交通安全③防犯教育の取り組みを聞く。

(3) 市からいじめをなくすため、どう考えているか。

(4) 現在、学校生活適応指導支援室【】に通う児童・生徒は何人か。支援内容は。

 不登校の小中学生を対象に、学籍のある学校とは別施設で学習援助し、本籍校復帰を目的にした教室。

市は鍋田支所2階に「アクティブ」を設置している。

(5) 通級指導教室【】の状況と支援内容を聞く。

また、桜小学校以外に複数校設置の考えはあるか。



多動性障害等、比較的軽度の障害等を克服する指導を行う教室。教科の学習は通常の教室で行う。

市は桜小学校に「さくらんぼ」を設置している。

(6) 中学校の保健体育の授業以外で、がん教育の特別授業も実施してはどうか。

25年度設置を 県に要望したい

答 教育長

(1) 23年に引き続き、11月に2年生全員の広島研修を計画し、1泊2日で、語部の講話や原爆ドームなどを見学する。

事前事後学習を行い、研修のまとめを冊子にする予定である。

(2) ①津波を想定し、高い建物へ避難するなど、最善の方法で訓練を実施している。今後もハザードマップづくりなど、防災教育の充実に一層力を注いでいく。災害時の避難所となる体

育館の天井補強、一部の校舎で屋上への外階段設置など、改修を計画的に行わなければならない。

②警察、県、市が合同で通学路を点検し、10月に危険個所対応策の合同会議を開催予定である。

また、PTAの当番活動やスクールガードにより、付き添い下校を行っている。

③各校で防犯教室や薬物乱用防止教室を開催している。

答 市長

(3) 市で、23年度22件のいじめが発生している。教育委員会に内容1件1件を精査してほしい。

早期発見と対応が最も大事で、未然に防ぐことを常に心掛けていきたい。

23年から始めた平和学習で、他者への思いやりも学習し、いじめ防止につながればと思っている。

答 学校教育課長

(4) 23年度末は8人、7月現在は6人である。

▲桜小学校の通級指導教室を視察する議員(平成21年当時)



集団への適応力を培い、元の学校の試験や行事も、可能なら参加している。

(5) 7月現在、17人である。週1、2時間、集団適応資質の指導や、教科補充指導等を行っている。

複数校設置は県に対し、25年度新たに開設できるように、要望していきたい。

(6) 時間調整等の問題が解決できれば、前向きに検討していきたい。

佐藤 博 議員



今後の市長出前講座は、 どう計画しているか

問

市長出前講座【関連記事8面】について聞く。

- (1) 効果をどう評価するか。
- (2) 今後の講座をどう考えているか。

問

青少年健全育成（以下「青健」）等について聞く。

- (1) 7月の青健推進大会で、市民憲章の唱和は、座ったまま行われた。大変情けないと感じたがどうか。
- (2) 市民憲章を学校で唱和させるよう、以前提案したが、その後、どう取り組んでいるか。
- (3) 小中学校は適正規模か。子どもの競争力や教育効果を高めるため、考えていくことが大事だと思うがどうか【関連記事16面】。

年2回を予定し 25年3月に開催

答 市長

- (1) 出席者の意見を今後の市政運営の参考とし、しっかり検討していきたい。
- (2) 年2回を予定し、後期は総合計画をテーマに、25年3月（開催）を計画し、市民と意見を交換したい。

学校で市民憲章 の唱和を

小学校副読本へ 掲載を協議中

答 教育長

- (1) 深く反省している。今後、憲章の唱和や市民

弥富市民憲章

「すすんで健康で教養豊かな人となりましょう」
「すすんで明るくあたたかい家庭をきずきましょう」
「すすんでよい伝統やまをまもる市民になりましょう」
「力を合わせて美しい自然と清潔なまちをつくりましょう」
「力を合わせて文化の香り高い平和な郷土をつくりましょう」

- の歌の合唱は、起立して行うことを徹底していく。
- (2) 教育委員会や校長教頭協議会で協議を重ねてきたが、理解を得ていない。

24年度、小学3・4年の副読本を一部改訂するので、市民憲章を掲載する方向で協議を進めている。

答 市長

- (3) 小学校区編成は大変難しい歴史的問題がある。中学校は、十四山中学校の（過小規模校）問題を、地域、学校、保護者と協議している。簡単に解決できるとは思っていないが、継続

入札のダンピング 防止策検討を

問

日の出小学校建設工事の入札について聞く。

- (1) 地元業者は下請けとして何社参加しているか。
- (2) 請負業者が（下請けに）適正賃金を支払っているか、追跡調査すべきではないか。
- (3) ダンピング（不当な廉売を防止し、適切な入札制度を検討する考えはあるか。

制度変更は考えていない

答 副市長

- (1) 5社が参加している。
- (2) 追跡は職員の増員等もしなければならず、現在のところ考えていない。
- (3) 最少経費で最大効果を上げねばならず、制度変更は基本的には考えていない。

審議を依頼し続けている。

鈴木 みどり 議員



学生の危険な自転車マナー を市として教育を

問

自転車交通マナーについて聞く。

- (1) 学生の無灯火・並列・右側・2人乗り走行など、極めて危険な走行を、市として教育する必要があると思う。どう指導してきたか。
- (2) 1～7月の自転車事故28件のうち、死亡事故は1件である。

今後、市として自転車事故をなくすため、どんな考えを持っているか。

- (3) コミュニティバスの利用を学校に働き掛けたことはあるか。

海翔高校が教室 を年3回開催

答 防災安全課長

- (1) 市として直接指導して

いないが、海翔高校は、年3回教室を行っている。

小中学校は、年1回は安全教室を開催している。

- 警察は、年12回程度取り締まりを行ったと聞いている。
- (2) 交通安全教育や施設整備は、警察と連携を取りながら今後も進めていきたい。

警察も、高齢者への講和等に力を入れている。

交差点をスクランブル方式にし、車と自転車を分流する安全対策も、重要だと思っている。

- (3) 学校に時刻表を配布している。
- 弥富高校は朝1便運行しているが、利用には結び付いていない。海翔高校は以前運行していたが利

用がなかったため、現在、運行していない。

太陽光発電の クレーム対策は

問

再生可能エネルギーについて聞く。

- (1) 太陽光発電を設置する場合、1kw当たり2万円、上限8万円の補助金が出ているが何件申請があったか。
- (2) 太陽光発電は、悪徳業

者が増える可能性もある。

市はクレームに対し、どう取り組む方針か。

- (3) 市として再生可能エネルギーをどう考えているか。

複数見積もりを 勧めている

答 環境課長

- (1) 23年度81件で、24年度75件分の予算のうち、8月末現在55件の申請となっている。

(2) 近隣の迷惑にならないよう、設置業者に指導している。設置を考えている人は、2社以上から見積もりを取ることを勧めている。

答 市長

- (3) 太陽光発電装置の設置補助を実施しており、24年度も補正予算化しなければならない状況である。

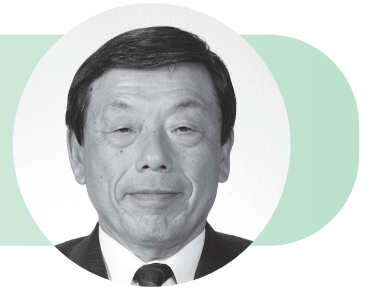
現在建設中の日の出小学校は、太陽光で発電された電力を使っていきたい。

白鳥保育所の建設計画も、設置していきたい。



国道1号沿いのスクランブル交差点

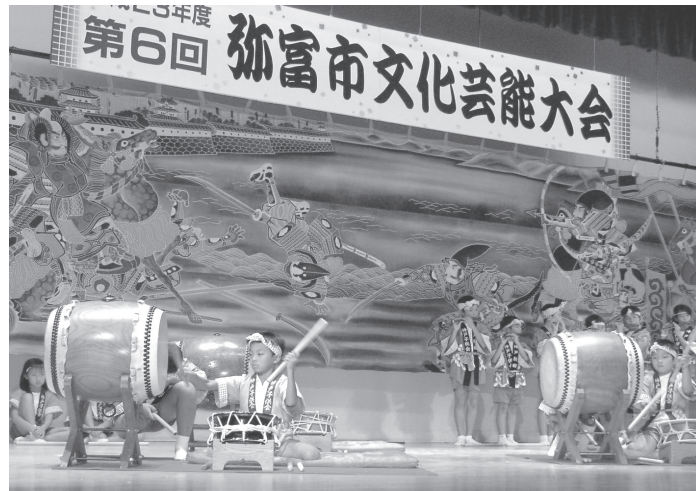
武田正樹 議員



伝統芸能を、今後とも続けていく方策は

問

伝統芸能について聞く。
(1) 文化財保存会に加盟する地域は、何地域か。
(2) 市文化芸能大会の参加地域は、21年度17地域、23年度14地域と、減っている。
大会を盛り上げる企画はないか。
(3) 伝統芸能を、今後も続けていく方策を聞く。



地域とよく話し合いたい

答 生涯学習課長

(1) 加盟団体は50地区で、神楽33、石取12、獅子舞等

11地区である。
(2) 文化財保存会加盟団体は、報償費3万円を支出している。
PRを、海部地域の資料館等へチラシを配布したり、クローバーTVに依頼し、文字放送を行っている。

答 市長

(3) 各地域に伝える人がいるので、一度よく話をし、どう継承していくかを考えていきたい。

1億円支出バスの利用者増加を

問

「コミュニティバスについて聞く【関連記事9面】」。

(1) 乗車状況
(2) 定期券販売状況
(3) サイクル&バスライド駐輪場を4カ所設置したが、利用状況はどうか。
(4) 23年度、1億3千533万円の支出で、大きな財政負担となっている。一日平均184人利用で、費用対効果の面から見れば余りよくない。
市民の足としての重要性を考え、利用者を増やすにはどうしたらいいのか。
(5) 時刻表の協賛広告は、何社応募があったか。
(6) 公共交通は利用率が低ければ、なくしてもいいと

いうものではないが、今後の考え方を聞く。

調査を踏まえダイヤ編成を実施

答 防災安全課長

(1) 7月末現在で、2万2千689人(対前年比3.7%増)、一日当たり229人(同28%増)である。

(2) 7月末現在25万8千300円(同13%増)である。

(3) あまり利用されておらず、今後、一層のPRが必要と思っている。

(4) 特効薬的なものはないのが現状である。現段階は、アンケートや乗降調査を中心にダイヤ編成を考えていることにとどまっている。

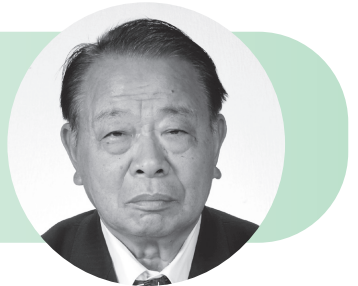
(5) 現在、バス(車両広告)とバス停に2社である。

増やさなければならぬと思うているが、協賛企業が少ない現状である。

答 市長

(6) 飛島村が行うデマンド方式を研究していきたい。

伊藤 正 信 議員



農業用水設備の保守管理を 市が行うべきではないか

問

五之三地区の農業用水につくられた沈砂槽の汚泥処理費13万円(の負担)を、地域が非常に苦慮している。

住宅建て替え時に得る排水協力金で汚泥処理していたが、その協議会がなくなった。槽の管理は下水道が完備するまでと、地域は承知していたが、早く整備してほしい状況になっている。沈砂槽の保守管理を、市に頼めないか。

25年度から維持費は市で予算化

答 市長

沈砂槽は、非常に公共性が高いと考えている。維持管理費は、25年度から市の予算化をしたい。

防火水槽の維持はどうするのか

問

自治会運営について聞く。(1) 自治会に加入してもらえない課題について、転入者に説明してはどうか。

(2) 五之三地区は、(消火栓で)役割の終わった防火水槽に、賃借料を払っている。市としてどう取り組んでいくのか。

(3) 五之三地区は、旧北部保育所跡地付近の水路の借地料を払っている。今後、どう対応してもらえるか。

地域で調整し、なくすのも可能

答 総務部長

(1) 市の広報等で、促進PR、周知を図っていきたい。

(2) 五之三地区の2カ所は、消火栓等で充足できている。

地域の理解を得て、なくした自治会もある。地元で調整できたら、そういう方向も可能かと思う。

答 農政課長

(3) 過去の経緯で自治会が地主に賃借料を払っていたと思われるが、まず調査し(水路を管理する)土地改良区と調整したい。

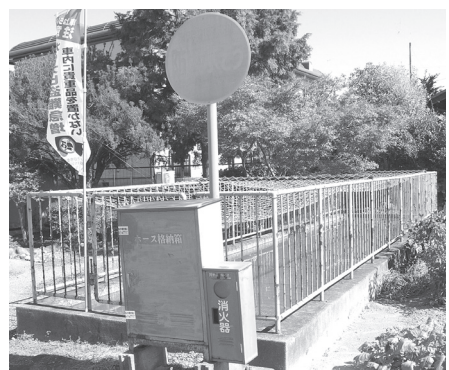
シジミの乱獲防止を

問

木曽川のシジミ採取のあり方に、課題があるのではないか。昼夜なく干潮時に採ったり、9 mm以下のものも採ってしまう。

豊かな漁場維持を、関係機関との協議で発言し進め

防火水槽【五之三川平地内】



てほしいがどうか。

県に対策を要望していききたい

答 農政課長

小型底引き網漁業は、県が発給する漁業許可を取得しなければならぬ。県に確認したところ、従前から船舶漁業従事者が対象で、新規許可は極めて困難であるとのことであった。

許可取得者も(採取)制限や条件が定められ、乱獲はないと思っているが、資源維持の観点から今後、対策も県に要望していきたい。

堀岡 敏 喜 議員



給食費の徴収を公会計化し 教員の負担軽減を

問

学校給食について聞

く。

(1) 現状

(2) 栃木県足利市は、直接JAから精米を納入し、給食費を月額100円値下げした。

負担軽減は取り組んだか。

(3) 給食費徴収の現状と、問題点はあるか。

(4) 蒲郡市は、給食会計の債権管理を自治体が行う公会計化に踏み出している。教員が本来の教育業務に専念できる。

認識と対応を聞く。

コスト増や未納 率上昇を懸念

答
学校教育課長

◀ 新米を食べる児童【弥生小学校】



(1) 全10校で自校給食を行っている。

食材は、各学校が個別に県学校給食会、JA、地元商店等から購入している。

(2) 米飯は、県学校給食会から納入している。独自米は独自検査が必要で、配達

等の条件がある。4校は自校炊飯が可能なので、今後の研究課題としたい。

(3) 1食当たり小学校250円、中学校290円を保護者の口座から、学校指定口座に引き落としている。

一部、納付が遅れる人や、滞納者もある。児童手当や就学援助支給時に、清算してもらおうよう努力している。

(4) 移行は、システム構築に3千万円程度掛かると考えられ、毎年の維持コストも発生する。未納率の上昇、徴収事務局の執行体制の問題もある。

契約化は未納者が少なく、必要性は少ないと考えている。

消費増税の市財 政への影響は

問

社会保障と税の一体改革

が大詰めだが、消費増税と地方財政について聞く。

(1) 市長の認識は。

(2) 消費増税で市財政にどんな影響があるか。

(3) 増税で減災等の公共事業が復活しようとする動きを、どう認識しているか。

5億強の増収を 見込んでいる

答
市長

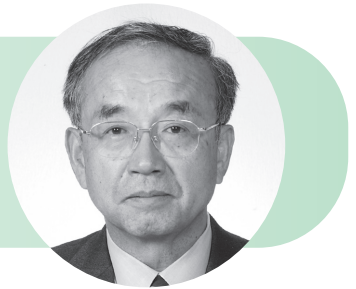
(1) 地方自治体の医療、介護、福祉に対する負担が大きくなっており、この財源を消費税に求めるのはやむを得ないと思う。

しかし、(国は)行財政改革を進め、経済政策をしっかり立ててほしいと思う。

(2) 現在、消費税5%の地方配分は1%4億5千万で、26年4月の8%時は1.7%7億7千万円、27年10月の10%時は2.2%9億8千万円で、最終的には5億3千万円ほどの増収になると思っている。

(3) 公共事業をやたら復活することは、許されるべき問題ではないと思う。

横 井 昌 明 議員



危険な空き家をなくすため 行政権を強化する条例制定を

問

空き家対策【関連記事7面】について聞く。

(1) 20年3月議会会で、空き家は47件と答弁された。

それ以降の指導と、現在何戸になっているか。

(2) 危険空き家等へ行政命令、公表等を可能にする適正管理条例を制定すべきではないか。

再調査の上、管理 依頼していく

答 防災安全課長

(1) 9件に適切な管理を依頼し、うち2件は、更地等に是正されている。あと7件は、是正されていない。

(2) まず、再度調査したい。それによって、適切管理を依頼していきたい。

公共施設に太陽 光発電設置を

問

先進自治体を研究し、条例制定する場合も、(強制撤去等を行う)代執行は特別な場合に限ると考えている。

再生可能エネルギー等について聞く。

(1) 長野県須坂市では、学校体育館に太陽光パネルを並べ、災害時、非常用電源で停電時の照明、通信機器電源として利用予定である。

学校等は、非常用発電機器を備えているか。

(2) 地域の人に(発電機等)器具の使用法を知ってもらう必要がある。市で避難訓練を呼び掛けてはどうか。

(3) 避難所がある学校等に、

学校児童生徒数の推移(人)

	5月現在	5年後	増減
弥生小学校	627	618	△9
桜小学校	985 (398※)	481	83
日の出小学校	(587※)	637	50
大藤小学校	174	155	△19
栄南小学校	130	124	△6
白鳥小学校	324	273	△51
十四山東部小学校	164	156	△8
十四山西部小学校	139	124	△15
小学校全体	2543	2568	25
弥富中学校	632	641	9
弥富北中学校	502	474	△28
十四山中学校	178	168	△10
中学校全体	1312	1283	△29

※25年4月 日の出小学校開校時見込

新設を優先し、 他は課題とする

答 教育部長

(1) 弥生小学校と弥富北中学校が未配備だったので、早急に配備していきたい。

(2) 学区の防災訓練に、項目を付け加えたらどうか。

新築以外にも太陽光発電設置を考えるべきだと思うが、どうか。

問

地域と一緒にやれると思うので、検討させてほしい。

(3) 望ましい形だと思うが、建設中のものを最優先にしていきたい。他の施設は検討課題としたい。

答 教育部長

左表の通り

学校統廃合は、将来計画を立て、少しでも早く適正規模の12、18学級で行うことができるよう要望する。

各校の5年後の生徒数を尋ねる【関連記事11面】。

山口 敏子 議員



火葬場は待合室以外にも エアコン設置を



問

市火葬場【鍋田町地内】

(1) 市火葬場の委託係員は丁寧で服装も整い、厳粛に

施設である。待合室棟から庭、緑地帯もきれいに整えられている。

行われていると聞いている。

ペット専用の祭壇も小部屋にくくられ、犬猫の動物置き場として整えられた。(23年度から行われた)業務委託のよいところが出ていると思う。

誰でも一度はお世話になる、避けては通れない大切な

緑豊かな美しい環境の中で、より整備された市火葬場として運営されることを希望する。

私が兄を送った川崎市では、2カ所の(公共)斎場があり、建物は重厚な石づくり、中は大理石風の床で、とてもゆつたりとしており、炉の間隔も広くとってあった。

このホールは冷房が効いており、職員もきちんとした服装で対応し、最期のお別れも厳粛に終わり、心からここで送れたことをよかったと思った。

近年の夏は、大変暑い日が続いている。市火葬場は、最後の別れの場所として、集骨などの儀式が行われるが、暑いからといって、窓扉などを開けるわけにいかない。

遺族のことを思えば、ここに空調設備を調べてはどうか。

(2) 待合室が1棟増築され、以前は(火葬の立会いは20人以内にと、厳しい人数制

限があったようだが、今はどうなっているか。

設置の方向で考えていきたい

答 環境課長

(1) 火葬場は昭和50年から稼働し、現在に至っている。運転開始時は空調設備がなかったが、時代の流れで待合室は夏はクーラー、冬はガスストーブを設置し、長い間経過してきたが、おとしとこととして、エアコンに改修した。

昨今、非常に暑い日が続き、熱中症になりやすくなっている。特に斎場内はガラス張りで日当たりもよいため高温になりやすく、冬は非常に寒い環境となっている。

今後、空調設備を設置していく方向で考えていくが、関連工事も発生するため、検討させてほしい。

(2) 一応、30人以内となっている。



どれが一番大きい？

十四山東部小学校の芋掘りが10月10日、同校付近の畑で行われました。

5月の苗植え以来、児童らが草取りなどを手伝って育てた「紅あずま」。全校児童約180人が班ごとに分かれ、作業を行いました。収穫した芋は後日焼芋にし、保護者と一緒に秋の味覚を満喫しました。



水郷のまちを守る

市の防災訓練が10月19日、平島町地内の用水路等で行われました。

集中豪雨で湛水被害が発生したと想定。毎分10tを排水する水中ポンプや発電機を、市建設業協会の協力を得てクレーン等で運搬、設置し、用水路の水を筏川に排水する訓練等を行いました。



一日でこんなに？

健康フェスタ2012が10月28日、十四山スポーツセンター等で行われました。

あいにくの雨になりましたが、恒例の健康チェックのほか、松野明美さんの講演、駅伝大会、おにぎりの無料配布などが行われ、大勢の家族連れがイベントを楽しみました【写真=一日に必要な野菜の量を量る親子】。

